

「雨と雪って嫌い。」と私は思うことがあるけれど、思い返してみれば、私達は水からの恩恵を常に受けていると思っただ。

北海道では雪が降る。積もった雪はやがて雪解け水となる。栄養が豊富な雪解け水は作物の成長を促進する。祖母がいる新潟県でいつもおいしいお米が食べられるのは、雪解け水があるからというもの理由の一つかもしれないと思っただ。また、雨も私達が過ごしていくために大切なもの。雨が作物や土に水を与え、河川に流れた雨水は私達が利用できるようになる。生活面においてだけではなく、プールや噴水、祭りなどの水とのふれあいで私達を楽しませたり、感動させたりしている。

そうやって毎日水の恩恵を受けられるのは、水循環で水が巡り続けているから。水循環では、海から蒸発した水が雲となり、雨を降らせ、雨水は川や地下を流れて海へ戻る。

しかし、このまま大量の水を使い続けたり、環境に配慮せず生活したりしていくと水が得られなくなってしまう。そうならないために今起きている問題、これから起こりうる問題に向き合っていくかなくてはならない。水循環に関わる問題として、渇水、洪水、水質汚染、地盤沈下、川の水の減少などが挙げられている。その原因や背景には、水利用の増加、都市化に伴う舗装で雨水の地下浸透の低下、地球温暖化による気候の変化などがある。さらに、水源林のある山村地域で人口減少や高齢化が進行し、森の適切な管理ができず、雨水を貯える機能の低下も危惧されているという。私はそれを知り、水と他の自然との関係の深さに気づいた。

水循環は、水だけでなく他の自然も守らなければ保てない。他の自然を守ることは水循環を守ること、水循環を守ることは他の自然を守ることにもなるといえるのではないだろうか。そのためにまず、私ができるのは、ゴミをポイ捨てしない、ゴミ拾いをする、できるだけ車を使う回数を減らすことだと考えた。そうすることで環境を守り、地球温暖化を少しでも止められることができるかもしれない。また、節水をしたり、洗剤を使いすぎないようにしたりして水を大切にしていけばいいと思った。海や川だけ、もしくは他の自然だけを守っても良くはならない。どちらもやらないと良くならない。しかし、一人でできる範囲は限られている。だから、全員で協力するのだ。一人一人ができることをできる範囲でやり続けることが大事だと思う。

私が住む町に海はないが、川や森はある。私なりに考えて、川や森を守り、水を守りたい。そして、自分達が守ろうとしている水が未来まで巡り続けているといいなと思う。